

音更町総合計画審議会会議結果（要旨）

会議名	音更町総合計画審議会 生活基盤部会（第4回）
開催日時	平成27年10月1日（木） 午後6時30分から午後7時30分
開催場所	音更町役場2階 第1・第2委員会室
委員出席者	小林部会長、宇佐美委員、大淵委員、鬼塚委員、杉山委員、目黒委員
事務局出席者	恩田建設水道部長、岩館建設水道部次長、中野建設水道部次長、鈴木都市計画課長、原都市計画課参事、下口谷土木課長、国枝建築住宅課参事、渡辺企画課長、阪本企画調整係主任
議題・諮問内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 部会長あいさつ 2 会議の進行等について 3 議件 <ol style="list-style-type: none"> (1) 音更町まち・ひと・しごと創生総合戦略について 4 その他 <ul style="list-style-type: none"> ・今後の審議会の内容及び日程等について
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・音更町まち・ひと・しごと創生総合戦略の体系 ・音更町まち・ひと・しごと創生総合戦略の考え方 ・音更町まち・ひと・しごと創生総合戦略の各施策と第5期総合計画基本計画との関連 ・第5期総合計画後期基本計画見直し案（総合計画審議会専門部会資料）
会議結果	下記のとおり
出された主な意見等	<p>■音更町まち・ひと・しごと創生総合戦略について</p> <p>委員：音更町にも婦人科があれば良いと思が、現実的な話として無理なのか。</p> <p>事務局：違う部会でも同じ話題になったが、簡単な話ではないと思う。</p> <p>委員：出生率が下がっていることで、マーケットとしては縮小してきていると思う。</p> <p>事務局：総合戦略に書き込めるような内容としては難しいのではないかと。何か動きがあれば良いが、町村だけがアクションを起こしてすぐにどうこうなるものでもない。</p> <p>委員：今後の音更町の活況に観光は必定。十勝川温泉の再生事業として旧ホテル跡地がこれから本格的になってくると思うが、反面、交通の便が良くない。金沢へ行くと100円を払えば町中を循環しているボンネットバスに乗れる。停留所も10分おきぐらいにある。音更での循環バスはコミュニティバスになるのか。</p> <p>事務局：コミュニティバスは、観光客向けではなく、高齢者社会を想定した公共施設や病院や買い物などをつなぐことを目的としているのでその例とは少し違う。 音更の取組としては、十勝川温泉に泊まった方は帯広駅から十勝川温泉まで無料でバスに乗れる。泊まった方限定で一般の方は該当しない。国が二次交通ということで色々動いているが、足の確保としては、買い物弱者といわれるお年寄りが移動できないことが大きな問題で、都市計画上でいうと、それを一つの町中に集めて歩いて行けるようにしましよと、遠くに住んでいるから不便という考え方があるが、今度は店が無いとか色々な話が出て色々悩ましいところでもある。</p> <p>委員：十勝川温泉の開発整備の話で、非常にいい話があっても、ロケーションが良いところに調整区域があったりして、役場へ相談に行ってくださいということがある。そういう枠をどうにかできたらもっとスムーズに行くのではないかと</p>

思う。

事務局：市街化調整区域は市街化を抑制する区域で、仮に住居だとしても一定の規模以上のものは建てられない。その規制で許す範囲のものをそのエリアに建ててくださいという役所的な指導になってしまうが、調整区域であってもやむを得ない場合で許可を取ればというものもあり、やはり事前に相談をいただければと思う。ただ、国の考え方としては、今後少子高齢化が進むことから、コンパクトシティという言葉聞いたことがあると思うが、町中が空洞化して空き店舗や空き家が出てきているので、なるべく空いている所に住んで市街化区域は広げないという風潮が現状。しかし、ケースバイケースで、そこに人がたくさんいれば当然必要なものも出てくるだろうし、柔軟に対応していくことは都市計画でも必要と考えている。音更だけでは難しいと思うが十勝としての観光特区などの考えもあるかもしれない。

市街化区域は定期的に見直しもしていて、必要性を理論づけることができれば市街化区域の拡大も可能ではある。ただ、時代は向いている方向が逆で、なるべく小さくという考え方で、相当な理論武装をしなくては拡大するのが難しいのが現状。

委員：農業労働力の確保対策事業について、人材不足で働く人がいないような状況でどのようなことをするのか。新規就農者は、後継者など新しい方も若干はいる。ただ、農業を行うにも今は人がいないと行えないので、そこをどのように考えているのかと思った。

事務局：北海道は夏忙しくて冬はそうでもない、これが九州だとその逆になるということで、地域間で補い合うというようなことを進めていくというもの。こればかりを進めていくわけではないが、このような新たな展開も進めていきたいということで総合戦略に記載している。今は協議段階だが動いている。

委員：募集を出しにハローワークへ行くと求職に来ている人はたくさんいる。長期計画では、雇用対策で職場を増やすとはあるが、その職場では働き手が少ないという観点が生計画の中にないので、雇用の場は増やしたが働き手がいないと逆効果になる。

事務局：こういった計画の中では大枠の書き方にしかなくてないが、現実的な事業としては検討して進めていくことになろうかと思う。

委員：介護福祉士の確保事業について、音更町の事業として行うが、十勝管内の高齢者施設に就職することを要件にしているということか。音更町内の高齢者施設ではないのか。

事務局：昨年度、ふるさと寄附金で相当額の寄附が集まり、寄付者の意向に応える事業として福祉の増進ということで、今は全国的に介護の人材が不足しているので、短大と一緒に教科書代の一部や研修費用の一部費用を支援する内容。定員を考えれば全ての学生が町内の施設に就職するのは現実的ではなく、また、介護の人材不足は十勝全体の問題でもあることから、町の考えとして十勝管内で就職していただくという制度を設計した。

※専門部会の開催は今回が最後で、今後は必要に応じ部会長会議で調整するものとして了承された。